

第4章

生活基盤

安全で快適に暮らす ～ 便利も快適もそろえる ひと～

施 策

- (1) 道路・河川・公共交通の整備
- (2) 住環境の整備と維持管理
- (3) 公園・緑地の整備と維持管理
- (4) 地域特性を活かした空間づくり
- (5) 情報通信基盤の整備と維持管理
- (6) 減災対策と災害復旧



安全で快適に暮らす ～ 便利も快適もそろえる ひた ～

生活基盤

4 - (1)

(1) 道路・河川・公共交通の整備

- ① 地域高規格道路「中津日田道路」の整備
- ② 幹線道路網の整備
- ③ 都市計画道路の整備
- ④ 生活関連道路の整備
- ⑤ 公共交通の維持と確保
- ⑥ 安全・安心で自然環境を活かした河川整備



スクールバスを活用した福祉バス

現状と課題

- ・*₁ 地域高規格道路「中津日田道路」は、物流等の拡大や生活、産業、観光などにも大きな期待が寄せられており早期完成が求められています。
- ・国・県道改良率は県内でも最も低い水準で、急カーブで道幅が狭い箇所など多く残されていることから道路整備が必要となっています。
- ・*₂ 都市計画道路は、交通量等の状況を考慮しながら未整備区間の整備が必要となっています。
- ・市民生活に欠かせない道路については、依然として市民からの要望も多く、未整備な箇所が残されており、離合所の設置や見通しを良くするなどの効率的な整備が必要となっています。道路の重要な施設である橋梁やトンネル等については、*₃ 経年劣化に伴う補修箇所が多く、適切な維持管理を行いながら施設の*₄ 長寿命化を進め安全な通行を確保する必要があります。
- ・移動手段の確保が困難な高齢者等の交通弱者の増加により、公共交通のさらなる充実が必要となってきました。また、バスの運転手不足や周辺部の利用者の減少に伴い、路線バスに代わる交通手段の確保が必要となっています。
- ・福岡県方面へ通勤や通学に公共交通機関を利用している人もおり、所要時間の短縮によって市内に居住しながら都市部へ通う人の増加が期待されます。
- ・近年の異常気象により、防災・*₅ 減災に配慮した河川整備が求められています。

基本方針

- ・地域高規格道路「中津日田道路」については、*₆ 期成会を中心に国、県に強く要望を行い早期完成を目指します。
- ・地域の拠点と集落を結び生活に直結する*₇ 幹線道路の整備を促進します。
- ・快適で安心な道路空間の形成を目的とした都市計画道路の整備を推進します。
- ・地域の状況に合わせた*₈ 生活道路の整備を推進します。
- ・老朽化が進んでいる橋梁やトンネルなどの道路構造物は、定期的な点検に基づき計画的な補修工事による長寿命化を推進します。また、道路については、パトロール等の実施により適切な維持管理に努めます。

*1 地域高規格道路

高速道路や一般国道を補完し、概ね60km/h以上の高速サービスを提供することができる自動車専用道路などの道路。

*2 都市計画道路

都市計画法に基づいて計画された道路のことで、あらかじめ整備に必要な区域を広く市民に周知して、長期的・計画的に整備する道路。

*3 経年劣化

年月の経過により品質や性能及び機能が低下すること。

*4 長寿命化

定期的な点検の実施や必要に応じた維持補修を行うことで、施設等の耐久性を向上させ、長持ちをさせること。

*5 減災(げんさい)

避けることのできない自然災害による被害をできるだけ小さくするための取組。

*6 期成会

目的を達成するために要望等の活動を行う組織。

*7 幹線道路

主要な地点を結び道路網の骨格を形成する道路。

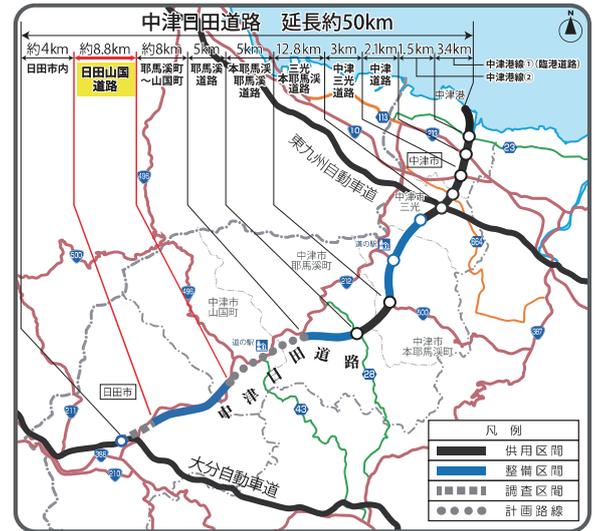
*8 生活道路

住宅などから主要な道路につながる生活に密着した道路。

- ・市民の暮らしや利用者数等の状況に応じた公共交通網を構築します。
- ・都市部への通勤通学者の利便性の向上を目指します。
- ・災害から市民の財産を守るため、防災・減災及び自然環境に配慮した河川整備を推進します。

主要施策と主な取組

- ① 地域高規格道路「中津日田道路」の整備
 - ・地域高規格道路「中津日田道路」の整備促進に向けた要望活動の強化
- ② 幹線道路網の整備
 - ・幹線道路としての国・県道の整備促進に向けた要望活動の強化
 - ・災害等に対応する「国道212号」の*₉ ダブルネットワーク化への取組
- ③ 都市計画道路の整備
 - ・事業区間の整備促進と次期着手区間の検討
- ④ 生活関連道路の整備
 - ・地域の状況を考慮した効率的な道路整備
 - ・橋梁やトンネル等の定期的な点検に基づいた適切な維持管理
- ⑤ 公共交通の維持と確保
 - ・地域の実情に即した交通手段の確保と利用しやすい公共交通の再構築
 - ・JRに対する市内から都市部への所要時間短縮等の働きかけ
- ⑥ 安全・安心で自然環境を活かした河川整備
 - ・防災・減災及び自然環境に配慮した河川整備の実施



地域高規格道路「中津日田道路」

関連する主な計画

- ・日田市都市計画マスタープラン
- ・日田市地域防災計画
- ・日田市水防計画
- ・各種施設等の長寿命化計画(橋梁・トンネル)
- ・日田市地域公共交通網形成計画
- ・日田市定住自立圏共生ビジョン
- ・過疎地域自立促進計画

目標指標

指標名	基準値 (平成30年度)	目標値	
		令和5年度	令和9年度
幹線道路網の改良率	60.7%	61.7%	62.5%

*₉ ダブルネットワーク化

自然災害等で一部の道路区間の通行止めが沿線全体の機能不全にならないように、あらかじめ交通ネットワークを多重化しておくこと。



安全で快適に暮らす ～ 便利も快適もそろえる ひた ～

生活基盤

4 - (2)

(2) 住環境の整備と維持管理

- ① 市営住宅の整備・維持管理
- ② 民間住宅に対する支援等
- ③ 水道の整備
- ④ 下水道等の整備
- ⑤ 法令や条例に基づく規制による誘導等



ストックマネジメントが進む浄化センター

現状と課題

- ・経年等により老朽化した市営住宅も多く、*₁ バリアフリー化や多様化した住民のニーズに対応した整備が求められています。また、住戸改善、売却等を周辺環境に配慮しながら進めていく必要があります。
- ・住宅の大部分を占める木造住宅の耐震化の促進は、市民の生命と財産を守る上で重要な課題です。
- ・少子高齢化や核家族化の進行などにより、適切に管理されていない空き家が増加傾向にあることから、地域環境に悪影響のある空き家や、流通や利活用が期待できる空き家への対策が求められています。
- ・人口減少などにより水道施設の規模は過大なものとなり、また、料金収入は低下していくことが予想される中で、施設の耐震化や老朽化等に対する費用は増加していくと見込まれています。さらに、水質の安全性はもちろんのこと、災害等において断水や給水制限の少ない水道水の供給が求められています。
- ・下水道の整備については、人口減少や地域の特性等を考慮した効率的な整備が求められているとともに、局地的な集中豪雨等による浸水被害が全国的に発生していることから浸水被害対策も求められています。また、経年等による下水道施設の老朽化に伴い維持管理費用の増加が見込まれます。
- ・無秩序な土地開発等によって周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼすことが懸念されており、開発者に対する適正な指導等が必要です。

基本方針

- ・既存市営住宅の計画的な改修等による居住環境の整備を進めます。
- ・住宅の耐震化を促進し、空き家等に対する措置や利活用等への支援を行います。
- ・水道事業の経営状況を的確に把握し、将来需要を見据え施設の適正化や統廃合、広域化等の事業のあり方を検討するとともに、適正な維持管理を推進します。
- ・下水道整備計画の見直しや*₂ スtockマネジメントによる事業の効率化を図るとともに、雨水排水施設の計画的な整備による浸水被害の軽減を図ります。
- ・良好な生活環境を形成するため、法令に基づいた規制による誘導や指導等に努めます。

*₁ バリアフリー化

高齢者や障がい者などが行う諸活動に不便な障壁(バリア)を取り除くこと。

*₂ スtockマネジメント

施設全体の状況を客観的に把握・評価し、中長期的な施設の状態を予測しながら、計画的かつ効率的に管理すること。



城内団地G号住宅



水道管の耐震化工事

主要施策と主な取組

① 市営住宅の整備・維持管理

- ・市営住宅の長期的な維持管理及び計画的な改修等による *₃ 長寿命化の推進
- ・多様化する課題に対応した住宅の提供と安定した居住環境の維持

② 民間住宅に対する支援等

- ・地震対策への支援
- ・暮らし方の変化に対応した住宅改修等への支援
- ・空き家等に対する措置や適正管理に関する助言、情報提供及び問題意識の啓発
- ・空き家等の有効な利活用等に対する支援及び補助制度の充実

③ 水道の整備

- ・的確な経営、財政状況の把握
- ・将来の需要等を見据えた水道施設の適正化や統廃合、広域化等の検討
- ・水道事業の効率化の推進
- ・水道施設等の耐震化及び長寿命化並びに適正な維持管理
- ・水道未普及地域における生活用水確保のための支援
- ・安全安心な水道水の確保

④ 下水道等の整備

- ・下水道整備計画の見直しによる下水道事業の計画的な推進及び下水道区域外における *₄ 合併処理浄化槽の普及
- ・下水道施設のストックマネジメント計画に基づく適正な維持管理
- ・浸水被害の軽減に向けた雨水排水施設の整備及び適正な維持管理

⑤ 法令や条例に基づく規制による誘導等

- ・無秩序な土地開発等に対する適正な誘導及び指導等

関連する主な計画

- ・日田市都市計画マスタープラン ・日田市耐震改修促進計画 ・日田市空家等対策計画
- ・日田市水道ビジョン ・日田市水道事業基本計画
- ・日田市水道事業 *₅ アセットマネジメント計画 ・日田市雨水対策基本計画
- ・日田市生活排水処理基本構想 ・日田市下水道ストックマネジメント計画
- ・過疎地域自立促進計画 ・各種施設等の長寿命化計画(公営住宅等)

目標指標

指標名	基準値 (平成27年度)	目標値	
		令和5年度	令和9年度
上水道の管路の耐震化率	0.12%	10.7%	16.3%

*₃ 長寿命化

定期的な点検の実施や必要に応じた維持補修を行うことで、施設等の耐久性を向上させ、長持ちをさせること。

*₄ 合併処理浄化槽

し尿と台所や風呂等から生活雑排水を合わせて浄化処理するための設備。

*₅ アセットマネジメント

中長期的な視点に立ち、施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に施設を管理運営すること。



安全で快適に暮らす ～ 便利も快適もそろえる ひた ～

生活基盤

4 - (3)

(3) 公園・緑地の整備と維持管理

- ① 歴史・文化や自然環境を活かした公園・緑地の整備
- ② 身近な公園の整備
- ③ 安全で安心な公園・緑地づくり
- ④ 緑地の保全と緑化の推進



竹田公園

現状と課題

- ・日田の歴史や文化など、地域特性を活かしながら景観や自然との調和に配慮した公園づくりが求められています。
- ・公園利用者は、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の市民や*₁ 地域コミュニティ活動等で利用しており、地域拠点となる公園づくりが求められています。
- ・多くの公園施設等が老朽化していることから施設の改修や適切な維持管理が必要です。
- ・公園は、避難場所としての機能も有していることから安全性を考慮した公園整備を進める必要があります。
- ・豊かで特色ある景観や自然との調和に配慮した緑化保全に取り組む必要があります。



ふれあいひろば田島



田島本町児童公園の多目的トイレ

基本方針

- ・日田の歴史や自然と調和し多くの人が集える公園づくりを推進します。
- ・公園は、市民の交流促進や防災面からも重要な施設であることから、多目的な活用や幅広いニーズに対応し地域バランスを考慮した公園整備を行います。
- ・公園施設の*₂ 長寿命化対策を図るとともに、適切な維持管理を行うことで、いつでも誰もが安全で安心して利用できる公園づくりに努めます。
- ・市民に潤いと安らぎを与える緑を保全し、人と自然が共生する特色ある地域づくりに努めます。

***₁ 地域コミュニティ**
一定の地域に居住する人々のつながりや活動。

***₂ 長寿命化**
定期的な点検の実施や必要に応じた維持補修を行うことで、施設等の耐久性を向上させ、長持ちをさせること。

主要施策と主な取組

- ① 歴史・文化や自然環境を活かした公園・緑地の整備
 - ・地域の特性や *₃ 文化資源を活かした公園等の整備及び保全
 - ・地域木材を使用した公園施設の整備
- ② 身近な公園の整備
 - ・地域バランスに配慮した公園の整備
 - ・私有地等を有効活用した *₄ 借地公園の整備
- ③ 安全で安心な公園・緑地づくり
 - ・遊具など公園施設の長寿命化計画に基づく適切な改修と維持管理
 - ・ *₅ 多目的トイレ等の整備及び公園施設の *₆ バリアフリー化
 - ・安全に配慮した緑地の管理
- ④ 緑地の保全と緑化の推進
 - ・緑地の保全や公共施設等の緑化の推進

関連する主な計画

- ・日田市都市計画マスタープラン
- ・各種施設等の長寿命化計画(公園施設)
- ・過疎地域自立促進計画

目 標 指 標

指標名	基準値 (平成30年度)	目標値	
		令和5年度	令和9年度
多目的トイレの整備箇所数(累計)	49箇所	55箇所	55箇所

*₃ 文化資源

地域の人々の活動によって残され、守られてきた文化財で、地域の歴史を語る上で欠かせないもの。

*₄ 借地公園

民有地と無償の借地契約を結び整備された公園緑地で、敷地面積250㎡以上や借地期間5年以上などの基準がある。

*₅ 多目的トイレ

障がい者や高齢者、子ども連れの人など、様々な立場の人の利便を配慮して設計されたトイレ施設。

*₆ バリアフリー化

高齢者や障がい者などが行う諸活動に不便な障壁(バリア)を取り除くこと。



現在のグランドヤ古墳



グランドヤ古墳保存整備イメージ図



安全で快適に暮らす ～ 便利も快適もそろえる ひた ～

生活基盤

4 - (4)

(4) 地域特性を活かした空間づくり

- ① 市街地や観光拠点等の整備
- ② 景観の形成
- ③ 計画的な土地利用



現状と課題

- ・JR日田駅周辺は、経済状況の変化などにより交通・商業機能が低下していることから、市民生活の拠点として多様な機能を集積し魅力ある都市空間の形成が必要です。
- ・観光の拠点である豆田地区と隈地区については、豊富な地域資源を活用し観光客の回遊性を高める必要があります。
- ・本市には、歴史的価値の高い建造物が多く残されている地域や*₁ 文化的景観地域などがありますが、建物の老朽化や高齢者世帯の増加、後継者不足等の問題で徐々に失われつつあることから、市民との協働により歴史的町並みの景観や建造物の保存、修理等を実施し継承していく必要があります。
- ・市街地の形成を図る地域と農用地や森林緑地等の自然環境の保全により、市街化の抑制に努める地域との区分を図り、計画的な土地利用を推進していく必要があります。

現在のJR日田駅前広場



歴史的価値の高い建造物

基本方針

- ・JR日田駅を中心とした賑わいの創出を支援するため、快適で利便性の高い空間づくりを行います。
- ・市民生活の拠点である中心市街地の機能向上と、歴史的町並み等の観光資源を活かした地域空間の整備を推進します。
- ・市民との協働により歴史的町並みや文化的景観の維持と保存を行い、良好な景観形成を図ります。
- ・土地利用のバランスや周辺との関連性を考慮した適切な*₂ 用途地域を指定し、建築物等の適正な配置と誘導に努めます。

*₁ 文化的景観地域

地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で、わが国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできない地域。

*₂ 用途地域

都市機能の安全性や利便性の向上、良好な住環境の確保を目的に、建築物の種類や規模を制限した地域の区分。住居系、商業系、工業系など12種類がある。

主要施策と主な取組

①市街地や観光拠点等の整備

- ・利便性の高い中心市街地の整備
- ・JR日田駅周辺の整備

② 景観の形成

- ・歴史や文化、自然環境と調和した景観の形成
- ・保全と活用が図られた賑わいのあるまちづくりの推進

③ 計画的な土地利用

- ・各種計画に則した長期的、計画的かつ総合的な土地利用の推進



石積の棚田と集落(池ノ鶴地区)

関連する主な計画

- ・日田市国土利用計画
- ・日田市都市計画マスタープラン
- ・日田市景観計画

目 標 指 標

指標名	基準値 (平成30年度)	目標値	
		令和5年度	令和9年度
伝統的建造物修理済建造物数(累計)	45件	53件	60件



豆田地区の町並み



安全で快適に暮らす ～ 便利も快適もそろえる ひた ～

生活基盤

4 - (5)

(5) 情報通信基盤の整備と維持管理

① ブロードバンド環境の利活用



日田市情報センター施設内

現 状 と 課 題

- ・市が運営している *₁ 水郷テレビについては、民間 *₂ ケーブルテレビ事業者と平成29年6月に「基本合意書」を締結し、令和4年3月の *₃ 公設民営化に向けた協議を行っています。
- ・携帯電話やスマートフォンは、今や個々の携帯端末として日常生活のみならず、災害などの緊急時の必需品となっており、スマートフォンの普及により *₄ Wi-Fi環境の整備が求められています。
- ・周辺地域に光ケーブル網による情報通信基盤を整備したことにより、市内全域でケーブルテレビサービスや高速インターネット通信が可能となるなど、*₅ デジタルデバイトの解消が図られています。今後は、高画質テレビ放送や超高速通信など新たなサービスへの対応が必要になります。

基 本 方 針

- ・市が運営している水郷テレビについては、公設民営化によって合理的な管理と運営を行います。
- ・公設の光ファイバーを積極的に民間企業へ貸出し、Wi-Fi環境の整備等による *₆ ブロードバンド環境の有効活用を図ります。
- ・ケーブルテレビ網や高速通信網は、市民や企業にとって重要な放送や通信の *₇ インフラとなっていることから、適切な管理のもと、高画質テレビ放送や超高速通信への対応を検討します。また、産業分野への情報通信技術の活用を推進します。

*₁ 水郷テレビ

日田市が市内周辺地域に対して行っている光ケーブルによるテレビ放送及びインターネット等の事業。

*₂ ケーブルテレビ

放送局と利用者の家庭をケーブルで接続し、テレビ番組の配信やインターネットを利用することができ有線放送サービス。

*₃ 公設民営化

国や地方公共団体が施設の整備・設置を行い、その施設を民間企業や団体に運営させること。

*₄ Wi-Fi(ワイファイ)

パソコンやスマートフォンなどの機器を無線で情報通信ネットワークに接続する技術。

*₅ デジタルデバイト

デジタル技術の普及度合や通信環境の整備状況に起因して生じる情報格差。情報化による恩恵に格差が生じること。

*₆ ブロードバンド

単位時間あたりに大量のデジタルデータを転送できる通信手段の総称。

*₇ インフラ

生活や産業などの経済活動を営む上で不可欠であり、社会で共有する基盤となる施設。

主要施策と主な取組

① ブロードバンド環境の利活用

- ・水郷テレビの施設を*₈ IRU契約で民間のケーブルテレビ会社へ賃貸する公設民営化
- ・情報通信基盤の有効活用(観光施設、*₉ 指定避難場所等へのWi-Fi環境の整備及び*₁₀ テレワークへの活用)
- ・ケーブルテレビ、*₁₁ プロバイダー事業における時代に応じたサービスの検討と推進

関連する主な計画

- ・日田市情報化基本計画
- ・日田市定住自立圏共生ビジョン
- ・過疎地域自立促進計画

目 標 指 標

指標名	基準値 (平成30年度)	目標値	
		令和5年度	令和9年度
観光施設、指定避難場所等へのWi-Fi環境の整備箇所数(累計)	20箇所	22箇所	27箇所

*₈ IRU

Indefeasible Right of Userの略。光ファイバー等の通信設備を電気通信事業者等に貸し出す際に設定される長期的な使用权。

*₉ 指定避難場所

市が指定した避難生活を送るための避難所や公園・グラウンド等の避難場所。

*₁₀ テレワーク

インターネット環境などの情報通信技術を活用して、場所や時間にとらわれずに働く勤労の形態。

*₁₁ プロバイダー

インターネット・サービス・プロバイダーの略。インターネットの接続サービスを提供する企業等のこと。



FREE Wi-Fi(日田市観光案内所)



HITA CITY FREE Wi-Fi



安全で快適に暮らす ～ 便利も快適もそろえる ひた ～

生活基盤

4 - (6)

(6) 減災対策と災害復旧

- ① 減災対策の推進
- ② 豪雨災害等の復旧



平成29年九州北部豪雨被害

現状と課題

- ・近年の異常気象は想定外の災害を誘発し、河川の氾濫や土砂崩壊による被害が起きています。このような状況から *₁ 地域防災計画による危険箇所の把握と災害に強い公共施設の整備が求められています。
- ・災害発生時の速やかな対応は、被害を最小化し円滑な復興に大きく寄与することから、防災体制の整備と復旧支援事業の充実が求められます。

基本方針

- ・国、県が管理している重要な道路や河川については、中・長期的な整備が実施されるよう関係機関と連携していきます。
- ・国、県への治山、治水及び *₂ 急傾斜地対策促進の要請とともに、被災した施設の復旧については、生活の基盤となる道路等の復旧を早期に図り、市民生活の安定が図られるよう整備に努めます。
- ・風水害及び地震等の災害から市民の生命と財産を守るため、地域防災計画等を基に、行政や関係機関及び地域住民との連携の強化を図り、防災体制の整備と *₃ 減災対策を推進します。
- ・市が管理する道路や河川については、危険箇所の防災対策を進めるとともに、被災箇所の早期復旧に努めます。



平成29年九州北部豪雨被害(復旧後)

*₁ 地域防災計画

市民の生命と財産を災害から守るために、関係機関や他の地方公共団体と協力して対応することを定めた計画。

*₂ 急傾斜地

傾斜度が30度以上ある土地で通常「がけ」と呼ばれる土地。

*₃ 減災(げんさい)

避けることのできない自然災害による被害をできるだけ小さくするための取組。

主要施策と主な取組

① 減災対策の推進

- ・災害危険箇所の解消に向けた防災、減災対策の推進
- ・災害に備えた公共施設等の整備及び減災対策の推進
- ・治山、治水対策に伴う国、県の関係団体への要請
- ・急傾斜地等の崩壊防止対策工事の推進

② 豪雨災害等の復旧

- ・国、県等の早急な復旧の促進
- ・被災箇所の早急な復旧
- ・防災体制の強化
- ・災害により被災した公共施設等の早急な復旧

関連する主な計画

- ・日田市地域防災計画
- ・日田市水防計画
- ・過疎地域自立促進計画

目 標 指 標

指標名	基準値 (平成28年度)	目標値	
		令和5年度	令和9年度
災害防除工事の整備箇所数(年間)	6箇所	5箇所	5箇所



災害防除工事(着手前)



災害防除工事(完了後)

